

市民の待ち時間を減少させるために 農用地台帳をデジタル化するための社会実証を実施しています

スタートアップ企業のサグリ(株)と協働し、農用地に関する問い合わせ対応時間の短縮方法や、市民への農用地情報の効果的な情報提供方法について検証を実施しています。

1 背景・目的

農林水産課には窓口来訪や電話等により、農地転用準備等のため、所有する土地が農用地に該当するかどうかの問い合わせが日常的に寄せられており、職員が都度、農用地台帳のデータやその更新履歴を確認しながら回答しています。確認の所要時間は最短でも5分程度必要ですが、分筆・合筆などが行われた可能性があり、農用地台帳だけでは正式な回答ができない土地については、登記簿を確認してから後日回答することもあります。

当事業では、市民の待ち時間を減少させるため、▽農用地台帳の更新方法を改善する ▽市民が窓口に来なくても確認できるよう、地図データをインターネット上で公開する の2点について、実証実験を行っています

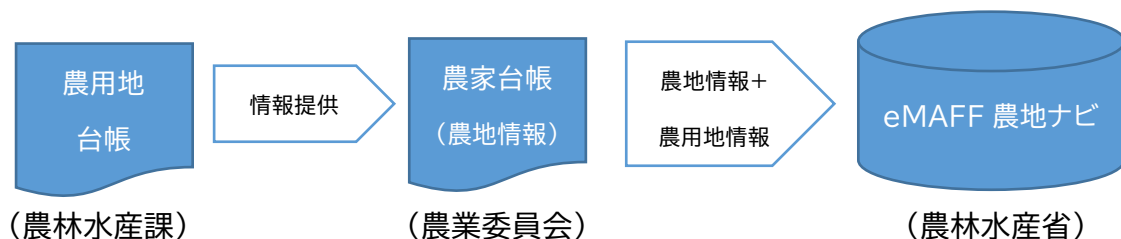
2 実施内容

① 農用地台帳における分筆・合筆の更新方法検討

サグリ(株)の開発した登記簿クレンジングツールを用いて、登記簿から分筆・合筆歴を可能な限り追跡し、現在登録してある農用地台帳の一部と照合しました。この結果、97%のデータが登記簿と照合可能なことを確認できました。併せて、同ツールを用いて農業委員会の管理している農家台帳も登記簿に照合したうえで、農用地台帳と農家台帳とのマッチングが可能かどうかを検証しています。

② デジタル地図としての表示方法検討

農用地が記された地図データをインターネット上で公開するには、登記簿地番に対応した農用地台帳をどうアウトプットするのかが課題となっています。当事業では、市農業委員会の農家台帳に農用地情報を入れることで農林水産省の管理している「eMAFF農地ナビ」に情報を載せることができないか検証しています。



3 会社概要

衛星データと地上データを活用し、農業分野に強みをもったデータ解析および機械学習による事業創出を行うスタートアップ企業。

会社名：サグリ株式会社

代表者：代表取締役 坪井 俊輔

所在地：兵庫県丹波市氷上町常楽 725-1

URL：<https://sagri.tokyo/>

事業内容：作付け調査効率化サービス「デタバ」開発・運用、耕作放棄地管理サービス「アクタバ」開発・運用

4 その他

・この社会実証は、岡山市が抱える社会課題・行政課題について、最先端のテクノロジーなどで課題解決とスタートアップの成長を目指す事業「GovTech Challenge OKAYAMA(ガヴテックチャレンジ オカヤマ)」に令和5年度採択された事業として実施しています。

・スタートアップとは、新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供、社会に貢献することによって事業の価値を短期間で飛躍的に高め、急成長を目指す企業や組織のことです。

<p>【お問い合わせ先】</p>

<p>岡山市 農林水産課 森本・森 直通086-803-1343 内線4546</p>
